

# 暴風雪と大雪に伴う被害防止対策について

気象災害対策  
平成28年1月18日  
中央普及支援センター

1月18日に金沢地方気象台から「暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報 第4号」が発表されました。県内では、19日から21日頃にかけて強い冬型の気圧配置が続く見込みで、荒れた天気となって大雪となるおそれがあります。

今後、気象台が発表する気象情報や注意報・警報に留意するとともに、次の事項に注意して施設などへの被害防止に努めて下さい。

なお、低温に対する対策は、12月28日付「冬季の気象災害防止対策について」を参考にしてください。

## 〔ビニールハウス〕

- (1) ハウスは筋交い、中柱等で補強する。その際、ハウスが降雪後にねじれないように補強は左右対称とする。ただし、既に降雪があり倒壊のおそれがある場合は、安全のため作業は行わない。
- (2) ハウスの隣棟間隔が狭いとき（間口の1/2以下）は、1棟おきにビニールフィルムをはずし、雪の堆積場とする。
- (3) 側壁に堆積した雪を融雪するため、側壁散水パイプを設置する。散水施設を設置できない場合は、かん水チューブを堆積した雪の上にセットできるように準備する。
- (4) ビニールのバタつきを防ぐためにハウスバンドを締め直すなど点検・整備する。また、ビニールが破損している部分は補修し、内部に風が吹き込まないようにする。

## 〔大麦〕

- (1) 融雪水による根腐れ等の湿害が起きやすいので、消雪後に排水溝の手直しや排水口への繋ぎ等の整備を行ない、速やかな排水に努める。

## 〔果樹〕

- (1) 樹体や果樹棚を支柱等で補強する。特に、粗剪定が終了していない園や主枝や亜主枝が長大化している園では、雪の重みによる枝裂けや棚の倒壊が起きやすいので対策を徹底する。

(2)冠雪が50cmを越えると被害が出やすいので、降雪量を見ながら着雪の払い落としを行う。

[畜産]

(1)畜舎等の施設点検を行い、老朽化等により倒壊の恐れがある場合は必要に応じて補強等を行うとともに、屋根の雪下ろしを行う。畜舎の周囲では、飼料運搬車等の車両通行を確保するための除雪に努める。

(2)停電等緊急時に備え、自家発電機の準備、点検を行う。また、交通の遮断等非常事態に備えて、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料なども含めて給与する飼料が急変しないよう留意する。

暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報 第4号  
平成28年1月18日05時45分 金沢地方気象台発表

(見出し)

四国沖にある低気圧が急速に発達しながら本州の南岸を通過し、19日から21日頃にかけて強い冬型の気圧配置が続く見込みです。暴風雪や高波、大雪に警戒してください。

(本文)

[要因]

四国沖にある低気圧は急速に発達しながら東北東進しています。また、日本海にも低気圧が発生し、発達する見込みです。日本付近は21日頃にかけて強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置が続くでしょう。

[風の予想]

石川県では、18日夜から海上を中心に南西または西の風が非常に強く吹くでしょう。19日までに予想される最大風速(最大瞬間風速)は、  
石川県 陸上 22メートル(35メートル)  
海上 25メートル(35メートル)  
の見込みです。

[波の予想]

石川県は、次第に波が高くなり、19日は大しけとなる所があるでしょう。

19日にかけて予想される波の高さは、  
石川県 8メートル  
の見込みです。  
また、20日以降も大しけとなる所がある見込みです。

**[雪の予想]**

石川県では、18日夜から山地を中心に大雪となる所があるでしょう。

19日6時までに予想される24時間降雪量は多い所で、

加賀 平地 5センチ

山地 40センチ

能登 平地 5センチ

山地 10センチ

の見込みです。

その後、降雪量は更に多くなり、20日6時までに予想される24時間降雪量は山地の多い所で、

石川県 100から120センチ

の見込みです。

**[防災事項]**

暴風雪や高波、大雪による交通障害に警戒し、なだれ、電線や樹木等への着雪、落雷、突風、高潮にも注意してください。

**[特記事項]**

この情報は「高波と強風に関する石川県気象情報 第3号」を引き継ぐものです。

今後、気象台が発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

**[情報の発表予定]**

次の「暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報」は、18日17時頃に発表する予定です。